

メンテから工事事業へ分野拡大。 「省エネコンサル」で売上伸長！

株式会社 エコ・プラン 様

＜会社概要＞
●創業 2002年
●年商 78億円
●社員数 332名
(2019年4月現在)
●事業内容
空調・冷凍・冷蔵機器の
メンテナンス、修理、施工、
販売
省エネルギーに関する
コンサルティング、他
●所在地
東京都新宿区西新宿
(東京本社)



▲大阪営業所はビルの4階

●URL <https://www.ecology-plan.co.jp/>

西日本エリア 統括部長 執行役員

藤本 真樹 様



愛知県出身の45歳。東京学芸大学環境科学学科を卒業後、教材販売や起業支援を行う会社に就職。入社から6年後、社内事業として空調機の洗浄を行う会社「エコ・プラン」を立ち上げ現在に至る。仕事のモットーは「当たり前のことを当たり前続ける」こと。

趣味はマラソン。腰を痛めたことをきっかけに体調管理を目的として始め、週に1・2回程度汗を流している。1回のランは6～10km、週末は朝、平日は夜走ると決めていて、走り終わった後のお酒は格別においしいとのこと。フルマラソンに3度参加し、いずれも完走している。



- ①補助金を活用した省エネコンサルティングで受注件数アップ
- ②「やる気」「挨拶」「礼儀」を徹底し、「やる気日本一企業」をめざす！
- ③2019年6月に仙台テクニカルセンターをオープン！全国ネットを構築中

エアコン洗浄の“さきがけ”として

「省エネコンサルティング」を通じて、お客様に豊かな環境を提供する株式会社エコ・プランさん。今回は創業メンバーの一人、西日本エリア統括部長の藤本真樹氏にお話を伺った。

創業のきっかけは2002年夏、部屋で起きたエアコン不調であった。たまたま三菱電機グループに勤務した経験のある社員がいて、「エアコンは定期的に洗浄する必要がある」ことを知る。これにビジネスチャンスを感じた現エコ・プラン社長の三ツ廣 修氏は同年10月、社内事業としてエアコン洗浄の会社を立ち上げた。飛び込み営業でお客様を増やし、2006年には売上11億円と右肩上がりの成長を果たす。併せてファ

ミリーレストランやパチンコ店など全国展開を行うお客様に対応するため、2005年には大阪オフィス（現：大阪CKテクニカルセンター）を設立。東京本社から社員を派遣するとともに、現地採用を行い、人材確保に努めた。

補助金の申請実績は954件

顧客が増えるにつれ、修理依頼も増加。売上は伸びたが、洗浄は4～5月、メンテナンスは7～8月に集中し、上期と下期で売上が大きく異なる状態を生んだ。売上の平準化を図るため、2010年頃から空調工事に注力。今では工事部門の売上が洗浄と修理を上回るまでに成長。要因は補助金を活用した「省エネコンサルティング」にある。2018年度末

時点で補助金の申請件数は954件、省エネ改修工事の実績数は737件。エネマネ事業者登録に続き、特定建設業許可を取得し、4,000万円以上の工事を請けられるようになったことも売上アップに拍車をかけた。藤本氏によると「工事案件の増加に伴い、1級管工事施工管理技士や第一種電気工事士といった有資格者も増えている」とのこと。

“環境”で企業価値を高める

同社は、環境省の「CO₂削減ポテンシャル診断推進事業」の認可を受け、診断機関としての活動も行っている。工場や事業場における設備の導入・運用状況などを調査・計測し、経済性の高いCO₂削減対策を提案するとともに、対策を



行った場合の費用や削減効果などに関する情報を提供するというものだ。

海外では「RE100(事業運営を100%再生可能エネルギーで調達)」をめざす企業が増えており、環境への取組が企業価値を大きく左右すると思う同社では、再エネや蓄エネに注力。東日本大震災の教訓からBCP(事業継続計画)に関する国・企業の関心も高まっていることから、太陽光発電や非常用LPガス発電機の普及に取り組んでいる。

“やる気日本一企業”を標榜

「震災以降、環境に対する企業・学生の関心は高まっている」と藤本氏は話す。環境を重視する企業姿勢に惹かれ就職を希望する学生がいる一方、クラブ活動に惹かれて応募してくる学生も多いという。サッカー、バスケットボール、ゴルフ、将棋…中でも軟式野球部は2018年度の東京都春季軟式野球大会1部でベスト4に進出する実力をもつ。

「部活動は部署の垣根を超えた交流を生み、社内に良い影響を与えている」と藤本氏は強調する。「やる気」「挨拶」「礼儀」を重んじるスポーツは、くやる気日本一企業」を標榜する同社にとって、欠かせない要素の一つ。取材時の朝礼テーマ<仕事の質は人の質>にも、人を大切にする同社の社風が表れている。

売上目標100億円に向けて

現在の顧客数は約5,000社。日本各地のお客様に対応するため、全国ネットワークの構築が進行中である。2017年に福岡テクニカルセンター、2019年に仙台テクニカルセンターを設立し、現在の拠点数は12。売上目標100億円に向け、業務のスピードアップも図られている。コールセンター開設や名刺・書類のデータベース化など、社内インフラの整備が急ピッチで進む。さらなる飛躍に向けたエコ・プランさんの次の一手に注目である。

がんばっています

なめらかな人でありたい。

入社9年目。課長とメンバー11名をつなぐ役割を担っています。後輩と接するときに気をつけているのは、感情的にならず論理的に話すこと。人によって思考や成長のタイミングは違うので、先を急ぎ過ぎないようにしています。同僚やお客様に違和感を与えない“なめらかさ”を持った人でありたいです。



環境事業本部
ESC事業部
大阪営業所
気分爽快課 副主任
甲田 大輝 様

お客様に豊かな環境を提供する。



環境事業本部
ESC事業部
大阪営業所
気分爽快課
小松 楽 様

会社説明会で聞いた「豊かな環境を創造する」という言葉に惹かれました。入社から3年、提案の内容や方法を考えて、お客様に豊かな環境をご提供するという仕事にやりがいを感じています。理想と現実の狭間で悩むこともありますが、初受注時の気持ちを忘れずに、前進し続けたいです。